



多摩市立瓜生小学校

# 瓜生小だより

平成30年度 第3号

平成30年 5月31日

## 絵本に託された思い

校長 吉田 正行

5月26日に行った運動会では、多くの方々が子供たちを励まし応援してくださいました。全校ダンスやPTA 競技にもすすんで参加していただき、児童・教職員・保護者・地域の方々が一体となった心温まる運動会になりましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。運動会への取組を通して、児童が自信をもち、大きく成長したことを大変嬉しく思います。また、瓜生小学校に対する愛着も深まったことも大きな成果です。

さて、5月2日、「からすのパンやさん」「おたまじゃくしの101ちゃん」「だるまちゃん」シリーズなどで親しまれた絵本作家の「かこさとし」さんが92歳で亡くなりました。祖父母から若い世代まで子供たちをワクワクさせ続けた「かこさとし」さん。昨年の学芸会で演じられた作品など本校の図書館にもたくさん作品が並び、多くの子供たちに親しまれています。

私も30数年前の教員になったばかりで児童を集中させるのに苦労していた頃、先輩の先生から「朝の会で読み聞かせをすると気持ちよく一日がスタートできるよ」と教えてもらい、かこさんの「どろぼう学校」や「だるまちゃんとてんぐちゃん」などを読みました。すると子供たちが真剣に耳を傾け、心がつながったことを覚えています。以下の言葉は、かこさんが2011年鎌倉文学館で開いた特別展で会場に掲げられていた手書きのメッセージの内容です。

これからの未来をおしすすめ、もっとよい世界にするため

科学や学問を身につけ ちがった意見をよくきき、

考えを深めて実行する かしこい人にみんななってほしいと 願っています。

そして 自分のくせや体力に合った やり方や練習法をみつけて、自分できたえて、

たくましくて しなやかな能力と すこやかな心を

そなえた人になるよう努力してください。

かこさんが作品に託して私たちに伝え続けたことがこのメッセージに込められている気がします。本校でも30日から読書週間が始まり、おすすめの本の紹介が廊下に掲示されているところです。梅雨時になり外で遊べない日が増えますが、読書をするにはとても良い機会ととらえ、取組を進めていきます。

ご家庭でも月に一回お子さんと一緒に、本屋や図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。児童書のコーナーなどに行き、興味を示した本を買ったり、借りたりしてみてください。また、自身のためにも好きな本を手にしてみましょう。本が立ち並ぶ空間、また、読書する大人の姿は、子供にとって素晴らしい刺激となります。これを繰り返しているうちに、やがて自然に、学校や地域の図書館へ行って自ら本を借りて読む子に育っていくでしょう。

### 【生活習慣のふりかえり 5月】

□に各自のふりかえりを記入する

あいさつ へんじ  
挨拶・返事

自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……………

やさしいことば  
優しい言葉

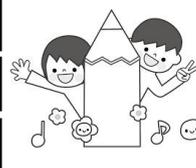
優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……………

がくしゅう どくしょ  
学習・読書

家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…

しんせつ こうどう  
親切な行動

親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にしてくださいようお願いいたします。